

平成22年11月5日

各位

会社名 株式会社 タカチホ
 代表者名 代表取締役社長 久保田 知幸
 (JASDAQ・コード8225)
 問合せ先 経営企画部長 渡辺 三千也
 電話 026-221-6677

特別利益の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

最近の動向を踏まえ平成22年5月14日に公表いたしました平成23年3月期(平成22年4月1日～平成23年3月31日)第2四半期累計期間の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 特別利益の発生及びその内容

(1) 貸倒引当金戻入益

回収懸念のある債権について計上していた貸倒引当金の一部について、当該取引先からの債権回収が進んだことから、貸倒引当金戻入額として24百万円計上する見込みとなりました。

(2) 特別利益その他

小売店舗の一部売却益等の発生による、特別利益その他として13百万円を計上する見込みとなりました。

2. 平成23年3月期 第2四半期累計期間業績予想の修正

(1) 第2四半期(累計)(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想(A)	6,900	220	180	70	11.18
今回修正(B)	6,631	204	188	128	20.50
増減額(B-A)	△268	△15	8	58	—
増減率(%)	△3.9	△7.0	5.0	83.3	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月31日～平成22年6月30日)	7,308	351	319	△718	△114.86

3. 修正理由

売上高につきましては、梅雨明け以降の猛暑による観光客の野外施設等への入込客数の減少や温浴施設への入店客の減少により、当第2四半期累計期間は減少を予想しております。

損益面につきましては、営業利益は上記売上高の減少に伴い予想よりも減少する見込みであります。一方経常利益は業務受託料等の営業外収益の増加により増加の見込みです。四半期純利益は、前述の貸倒引当金戻入益、特別利益その他等が特別利益として計上される他、税金費用の減少により増益となる見込みであります。

この結果、第2四半期累計期間は売上高6,631百万円、営業利益204百万円、経常利益188百万円、四半期純利益128百万円となる見込みであります。

※上記予想値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以上